

文化に関するアンケート

県では、誰もが誇りや愛着を持てる滋賀を目指して、県民の皆さんとともに魅力ある滋賀の文化を育むために制定した「滋賀県文化振興条例」に基づき、文化振興に関する長期的な目標や施策の方向等を定めた「滋賀県文化振興基本方針(第2次)～文化で滋賀を元気に!～」を平成28年3月に策定し、文化振興施策を推進しています。

つきましては、県の文化振興施策を推進するにあたり、県民の皆さんの文化に関する考えや活動状況を把握したく、アンケートを実施しました。

★調査期間:平成30年9月

★対象者:県政モニター396人

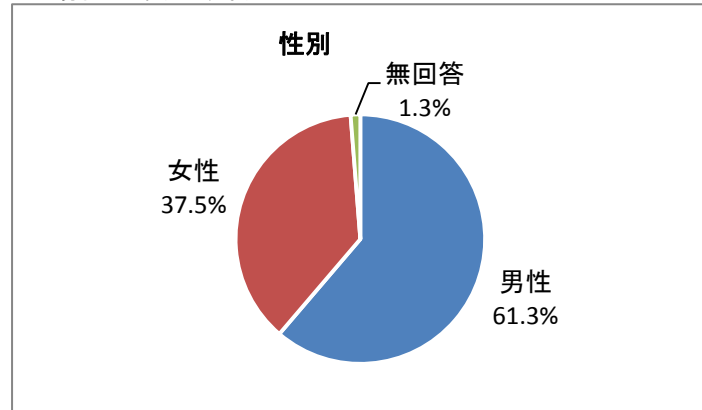
★:回答者数:320人 (回収率80.8%)

★担当課:県民生活部文化振興課

(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

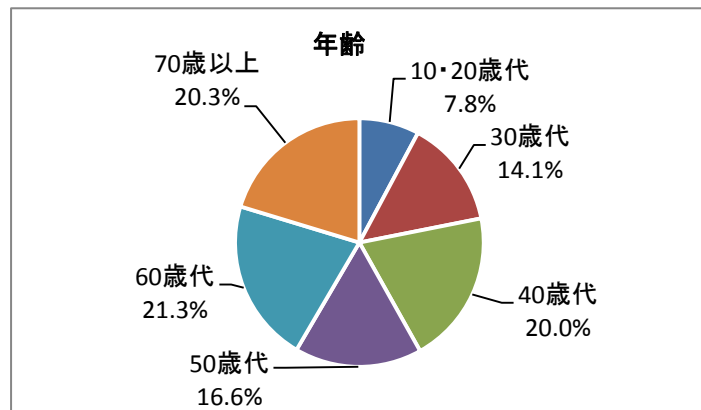
あなたの性別を教えてください

項目	人数(人)	割合(%)
男性	196	61.3
女性	120	37.5
無回答	4	1.3
合計	320	100.0



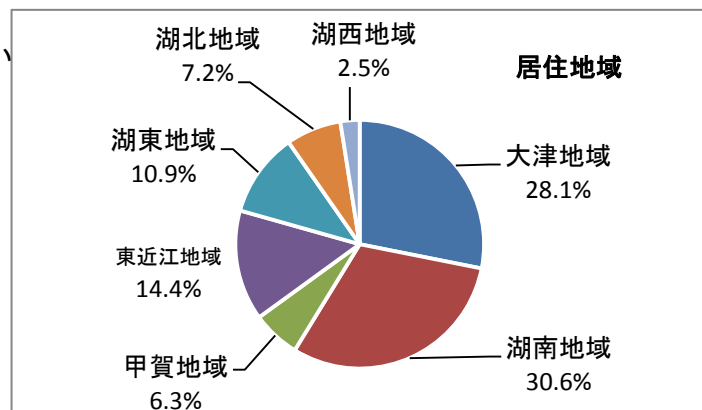
あなたの年齢を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	25	7.8
30歳代	45	14.1
40歳代	64	20.0
50歳代	53	16.6
60歳代	68	21.3
70歳以上	65	20.3
合計	320	100.0



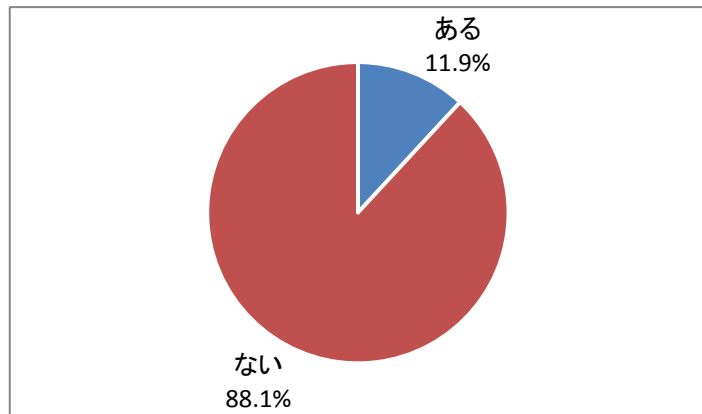
あなたのお住まいの市町村名を記入してください

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	90	28.1
湖南地域	98	30.6
甲賀地域	20	6.3
東近江地域	46	14.4
湖東地域	35	10.9
湖北地域	23	7.2
湖西地域	8	2.5
合計	320	100.0



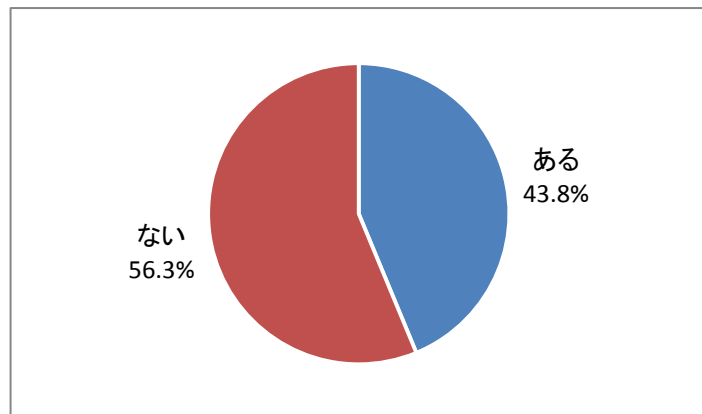
【問1】滋賀県では、文化情報発信サイトである「滋賀文化のススメ」のホームページを運営し、県内のイベント情報や文化芸術団体、アーティストの情報や文化活動に関する助成金の情報等をインターネットで発信しています。
あなたはこの1年間で「滋賀文化のススメ」を閲覧したことがありますか。
(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
ある	38	11.9
ない	282	88.1
合計	320	100.0



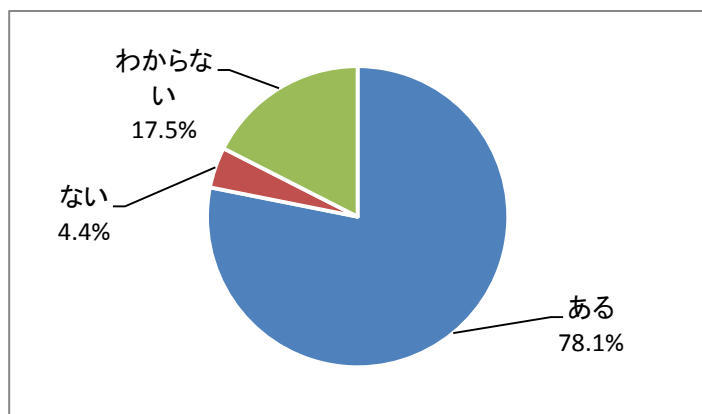
【問2】滋賀県では、県内のホール、博物館、ギャラリーなどのイベント情報を掲載した文化情報紙「れいかる」を発行し、滋賀県内の市役所・町役場、文化施設、図書館や県内各金融機関に設置し無料配布しています。あなたはこの1年間で「れいかる」を読んだことがありますか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
ある	140	43.8
ない	180	56.3
合計	320	100.0



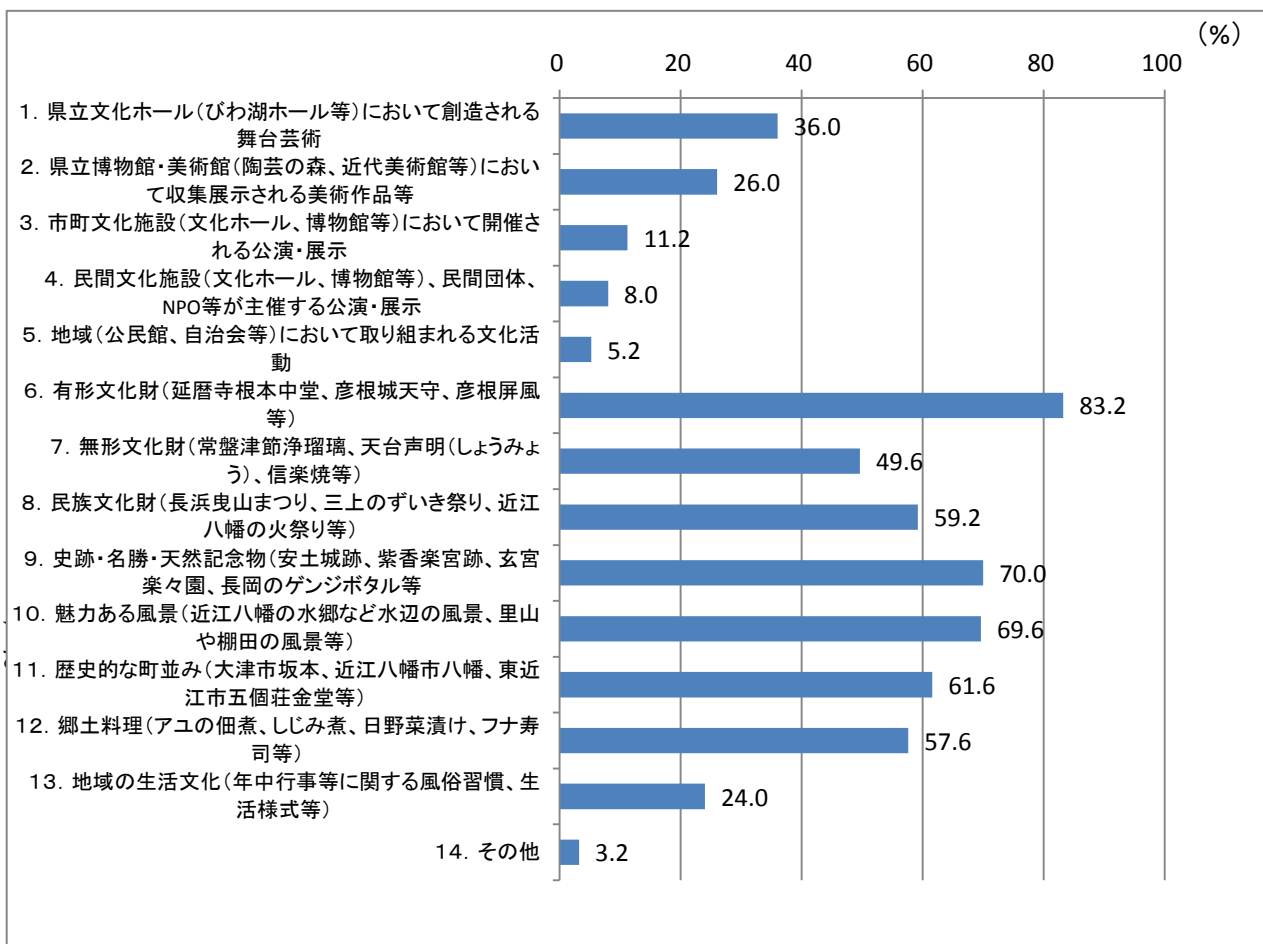
【問3】滋賀県には、国内外に誇ることができる文化(多彩な芸術文化、地域において継承されてきた文化的資産・生活文化、魅力ある風景など)があると思いますか。
(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
ある	250	78.1
ない	14	4.4
わからない	56	17.5
合計	320	100.0



【問4】*問3で「1. ある」を選択した方のみ回答してください。
 あなたが国内外に誇ることができる滋賀の文化とはどのようなものですか。
 (回答チェックはいくつでも n=250)
 また、具体的な名称があれば「具体的な名称」欄に3つ程度記入してください。

項目	人数(人)	割合(%)
1. 県立文化ホール(びわ湖ホール等)において創造される舞台芸術	90	36.0
2. 県立博物館・美術館(陶芸の森、近代美術館等)において収集展示される美術作品等	65	26.0
3. 市町文化施設(文化ホール、博物館等)において開催される公演・展示	28	11.2
4. 民間文化施設(文化ホール、博物館等)、民間団体、NPO等が主催する公演・展示	20	8.0
5. 地域(公民館、自治会等)において取り組まれる文化活動	13	5.2
6. 有形文化財(延暦寺根本中堂、彦根城天守、彦根屏風等)	208	83.2
7. 無形文化財(常盤津節浄瑠璃、天台声明(しょうみょう)、信楽焼等)	124	49.6
8. 民族文化財(長浜曳山まつり、三上のずいき祭り、近江八幡の火祭り等)	148	59.2
9. 史跡・名勝・天然記念物(安土城跡、紫香楽宮跡、玄宮楽々園、長岡のゲンジボタル等)	175	70.0
10. 魅力ある風景(近江八幡の水郷など水辺の風景、里山や棚田の風景等)	174	69.6
11. 歴史的な町並み(大津市坂本、近江八幡市八幡、東近江市五個荘金堂等)	154	61.6
12. 郷土料理(アユの佃煮、しじみ煮、日野菜漬け、フナ寿司等)	144	57.6
13. 地域の生活文化(年中行事等に関する風俗習慣、生活様式等)	60	24.0
14. その他	8	3.2

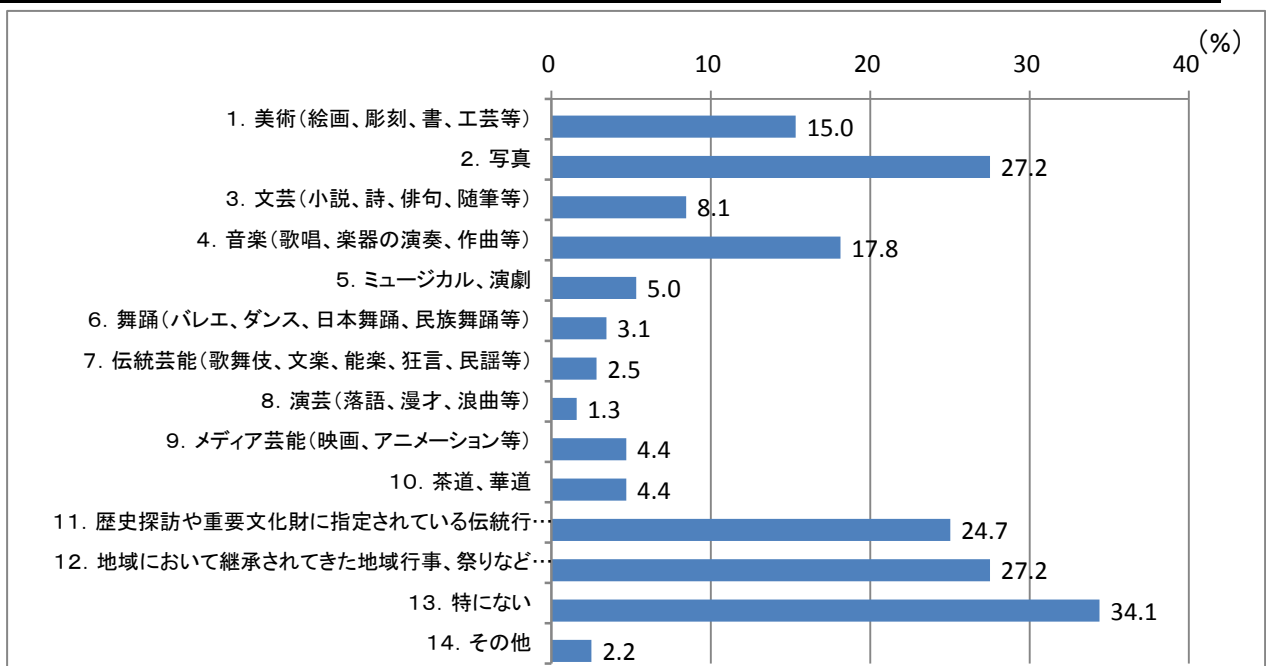


★具体的な名称(【問4】のその他)

- ・大津市曳山。
- ・琵琶湖という「湖のある生活と風土」のすべて。
- 外国旅行者を滋賀に呼ぶためなら海外でも有名な「忍者」という特殊部隊の技や知恵。
- ・琵琶湖の生態系を大事にする文化。 ・雨水、河川と共にはぐくんできた文化
- ・湧水との付き合い方。自転車文化。新旭のかばた。醒ヶ井の水との生活。
- ・近江平野の農村風景、水源の山林。
- ・中江藤樹記念館。中江藤樹の足跡。 ・大津京。近江神宮周辺。 ・近江から出た商売人。

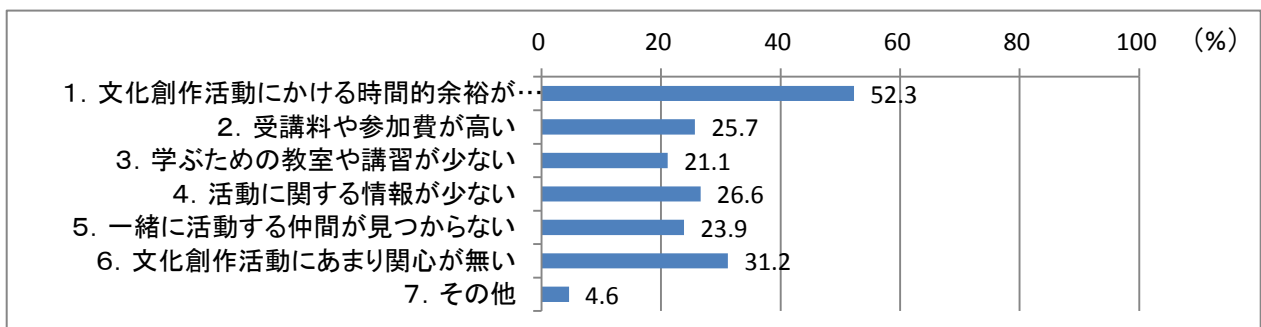
【問5】以下の文化創作活動について、この1年間にあなた自身がされたことをすべて選んでください。
 (回答チェックはいくつでも n=320)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 美術(絵画、彫刻、書、工芸等)	48	15.0
2. 写真	87	27.2
3. 文芸(小説、詩、俳句、随筆等)	26	8.1
4. 音楽(歌唱、楽器の演奏、作曲等)	57	17.8
5. ミュージカル、演劇	16	5.0
6. 舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊、民族舞踊等)	10	3.1
7. 伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言、民謡等)	8	2.5
8. 演芸(落語、漫才、浪曲等)	4	1.3
9. メディア芸能(映画、アニメーション等)	14	4.4
10. 茶道、華道	14	4.4
11. 歴史探訪や重要文化財に指定されている伝統行事への参加	79	24.7
12. 地域において継承されてきた地域行事、祭りなどへの参加	87	27.2
13. 特にない	109	34.1
14. その他	7	2.2



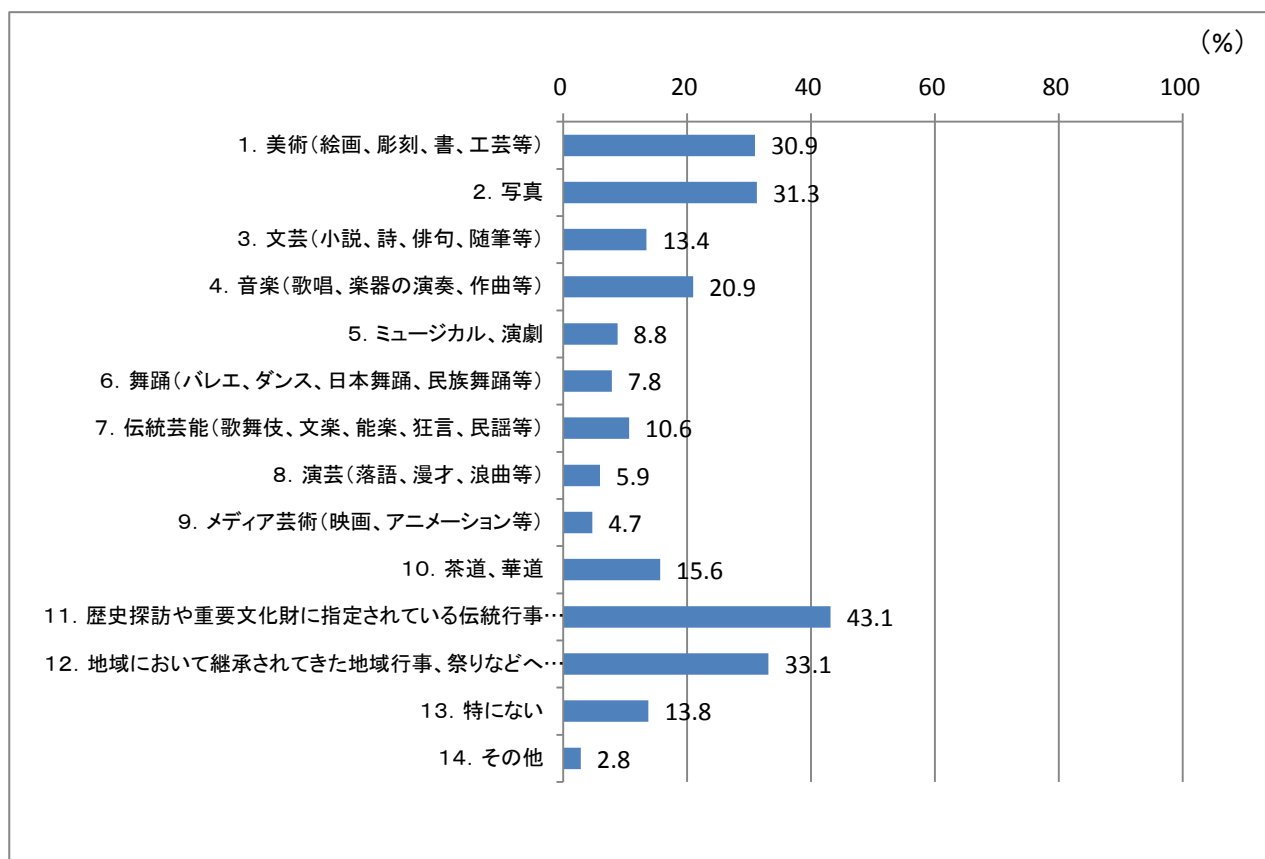
【問6】*問5で「13. 特にない」を選択した方のみ回答してください。
 文化創作活動をされなかったのはなぜですか。(回答チェックはいくつでも n=109)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 文化創作活動にかかる時間的余裕が無い	57	52.3
2. 受講料や参加費が高い	28	25.7
3. 学ぶための教室や講習が少ない	23	21.1
4. 活動に関する情報が少ない	29	26.6
5. 一緒に活動する仲間が見つからない	26	23.9
6. 文化創作活動にあまり関心が無い	34	31.2
7. その他	5	4.6



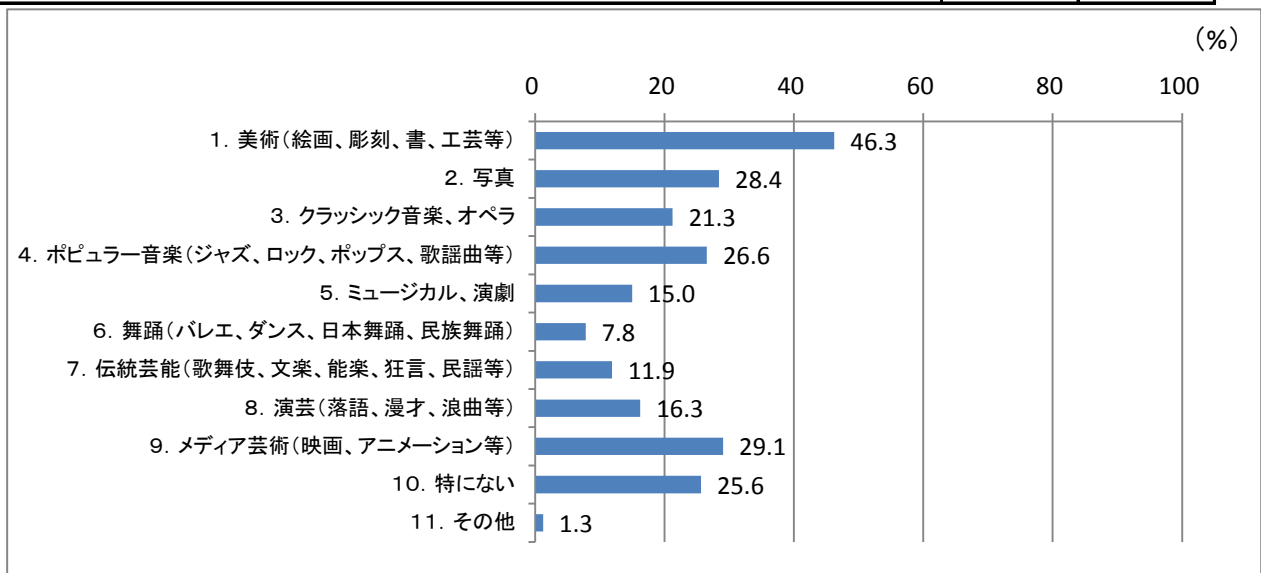
【問7】今後あなたがしてみたい文化創作活動について、すべて選んでください。
 (回答チェックはいくつでも n=320)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 美術(絵画、彫刻、書、工芸等)	99	30.9
2. 写真	100	31.3
3. 文芸(小説、詩、俳句、随筆等)	43	13.4
4. 音楽(歌唱、楽器の演奏、作曲等)	67	20.9
5. ミュージカル、演劇	28	8.8
6. 舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊、民族舞踊等)	25	7.8
7. 伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言、民謡等)	34	10.6
8. 演芸(落語、漫才、浪曲等)	19	5.9
9. メディア芸術(映画、アニメーション等)	15	4.7
10. 茶道、華道	50	15.6
11. 歴史探訪や重要文化財に指定されている伝統行事への参加	138	43.1
12. 地域において継承されてきた地域行事、祭りなどへの参加	106	33.1
13. 特にない	44	13.8
14. その他	9	2.8



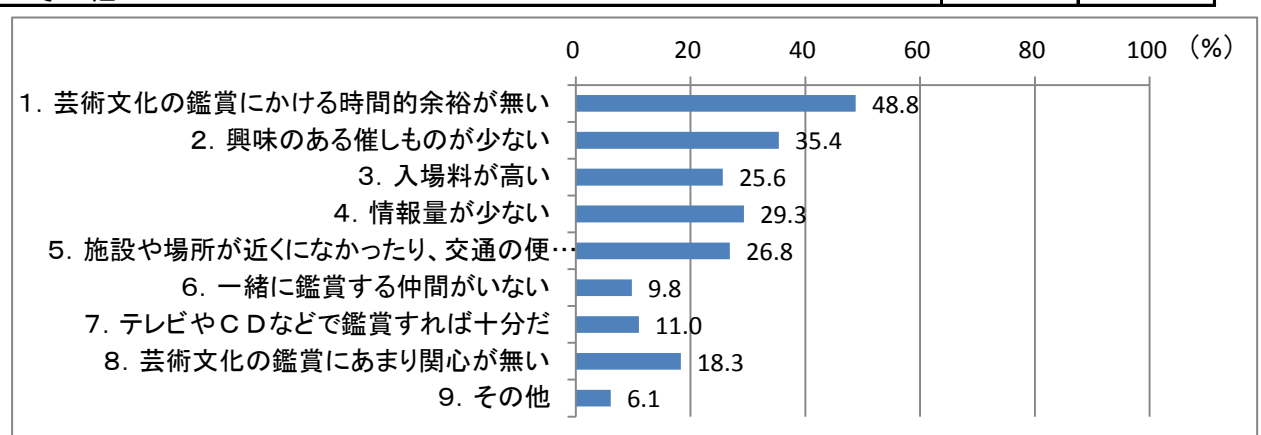
【問8】芸術文化の鑑賞(テレビ、ラジオ、レコード、CD、ビデオ、DVDなどによる鑑賞を除く)について、以下のジャンルの中で、この1年間にあなた自身が鑑賞されたものを選んでください。(回答チェックはいくつでも n=320)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 美術(絵画、彫刻、書、工芸等)	148	46.3
2. 写真	91	28.4
3. クラシック音楽、オペラ	68	21.3
4. ポピュラー音楽(ジャズ、ロック、ポップス、歌謡曲等)	85	26.6
5. ミュージカル、演劇	48	15.0
6. 舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊、民族舞踊)	25	7.8
7. 伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言、民謡等)	38	11.9
8. 演芸(落語、漫才、浪曲等)	52	16.3
9. メディア芸術(映画、アニメーション等)	93	29.1
10. 特にない	82	25.6
11. その他	4	1.3



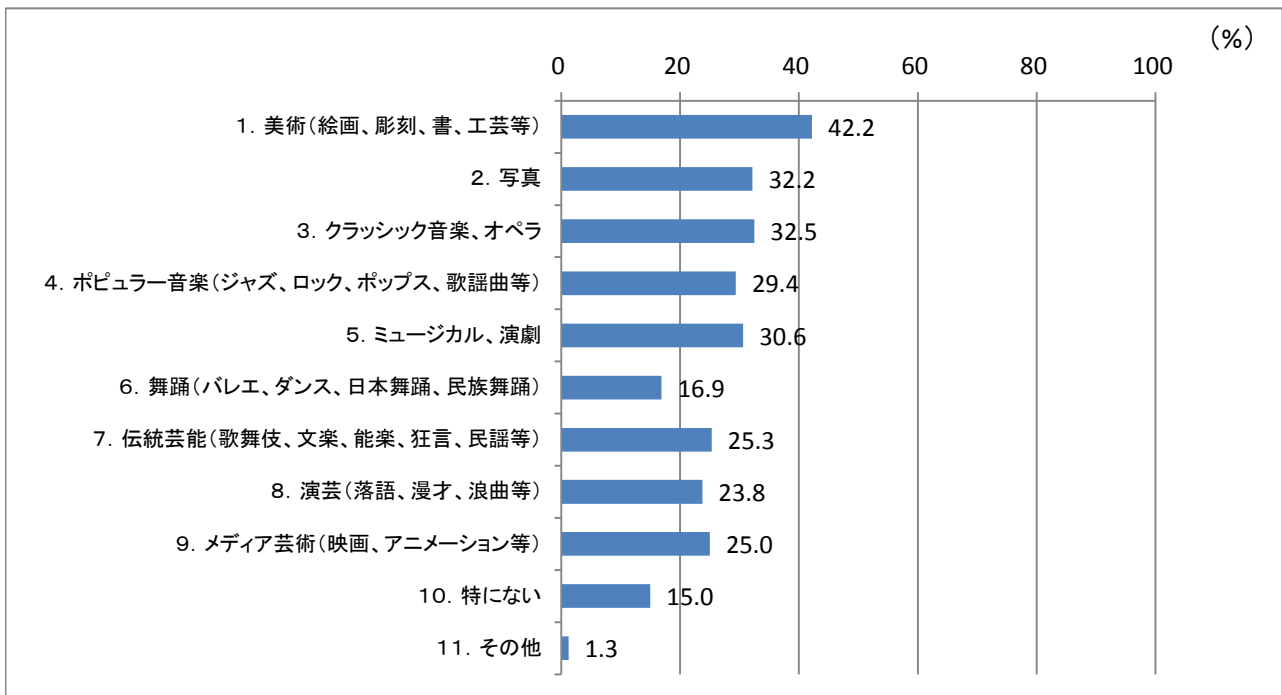
【問9】*問8で「10. 特にない」を選択した方のみ回答してください。文化鑑賞活動をされなかったのはなぜですか。(回答チェックはいくつでも n=82)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 芸術文化の鑑賞にかかる時間的余裕が無い	40	48.8
2. 興味のある催しものが少ない	29	35.4
3. 入場料が高い	21	25.6
4. 情報量が少ない	24	29.3
5. 施設や場所が近くになかったり、交通の便が悪い	22	26.8
6. 一緒に鑑賞する仲間がいない	8	9.8
7. テレビやCDなどで鑑賞すれば十分だ	9	11.0
8. 芸術文化の鑑賞にあまり関心が無い	15	18.3
9. その他	5	6.1



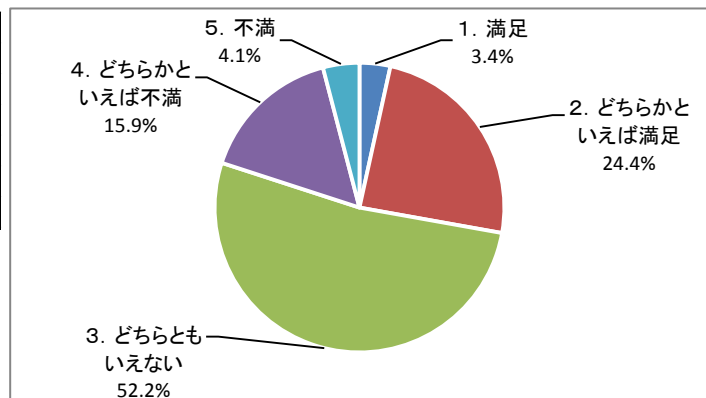
【問10】今後あなたがしてみたい芸術文化の鑑賞(テレビ、ラジオ、レコード、CD、ビデオ、DVDなどによる鑑賞を除く)について、以下のジャンルの中で、当てはまるものを選んでください。(回答チェックはいくつでも n=320)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 美術(絵画、彫刻、書、工芸等)	135	42.2
2. 写真	103	32.2
3. クラシック音楽、オペラ	104	32.5
4. ポピュラー音楽(ジャズ、ロック、ポップス、歌謡曲等)	94	29.4
5. ミュージカル、演劇	98	30.6
6. 舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊、民族舞踊)	54	16.9
7. 伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言、民謡等)	81	25.3
8. 演芸(落語、漫才、浪曲等)	76	23.8
9. メディア芸術(映画、アニメーション等)	80	25.0
10. 特にない	48	15.0
11. その他	4	1.3



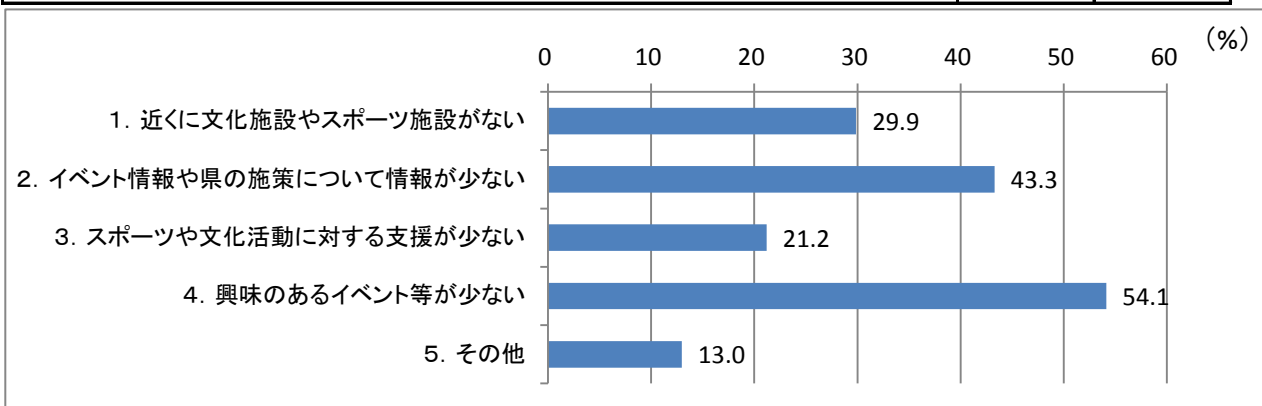
【問11】本県における「文化やスポーツを楽しめるまちづくり」の施策(「地域を元気にする文化振興と「美の滋養」づくり等)について、あなたはどの程度満足していますか。あなたの満足度に最も近いものを選んでください。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 満足	11	3.4
2. どちらかといえば満足	78	24.4
3. どちらともいえない	167	52.2
4. どちらかといえば不満	51	15.9
5. 不満	13	4.1
合計	320	100.0



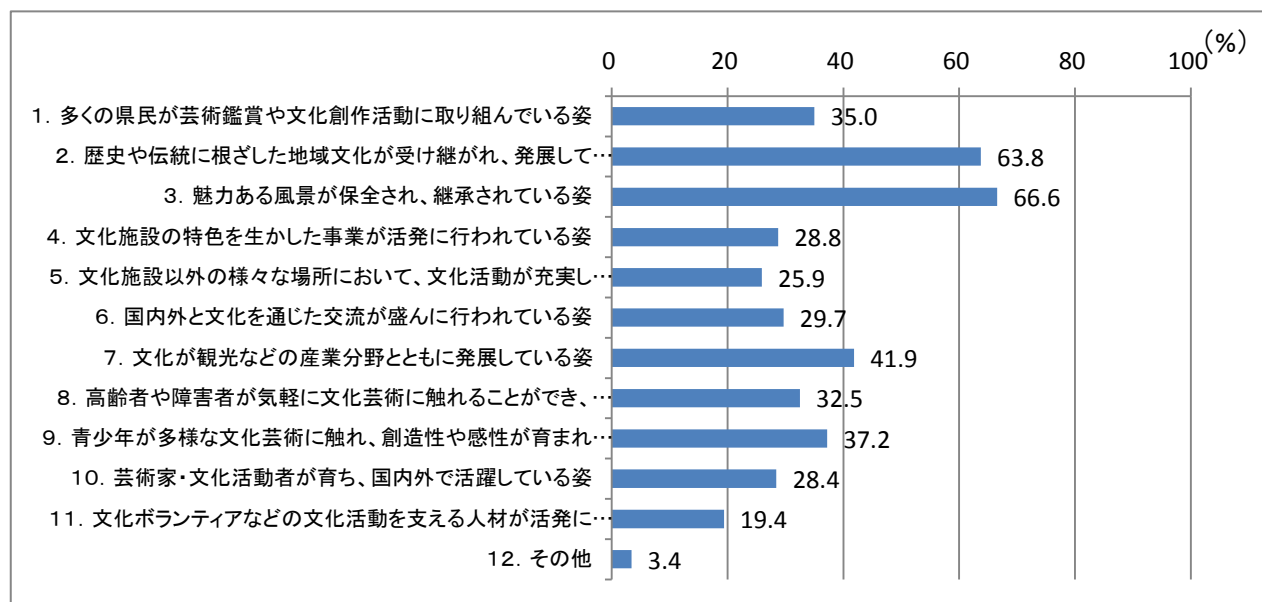
【問12】*問11で「3. どちらともいえない」「4. どちらかといえば不満」「5. 不満」と答えられた方はその理由を以下よりお選びください。(回答チェックはいくつでも n=231)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 近くに文化施設やスポーツ施設がない	69	29.9
2. イベント情報や県の施策について情報が少ない	100	43.3
3. スポーツや文化活動に対する支援が少ない	49	21.2
4. 興味のあるイベント等が少ない	125	54.1
5. その他	30	13.0



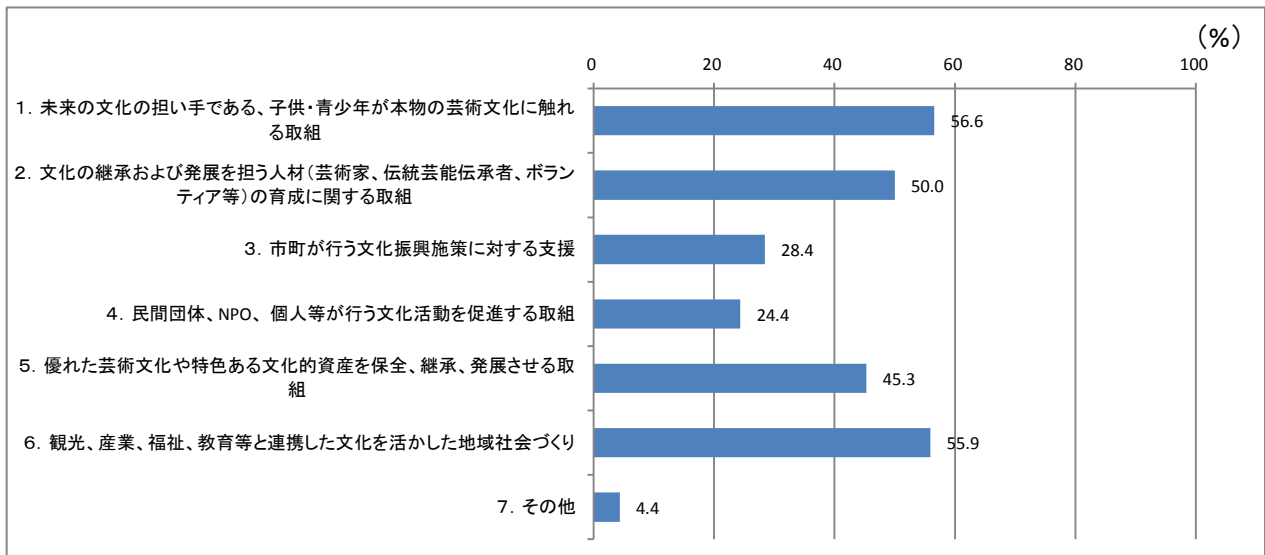
【問13】滋賀の文化の望ましい将来像はどのような姿だと思いますか。
(回答チェックはいくつでも n=320)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 多くの県民が芸術鑑賞や文化創作活動に取り組んでいる姿	112	35.0
2. 歴史や伝統に根ざした地域文化が受け継がれ、発展している姿	204	63.8
3. 魅力ある風景が保全され、継承されている姿	213	66.6
4. 文化施設の特徴を生かした事業が活発に行われている姿	92	28.8
5. 文化施設以外の様々な場所において、文化活動が充実している姿	83	25.9
6. 国内外と文化を通じた交流が盛んに行われている姿	95	29.7
7. 文化が観光などの産業分野とともに発展している姿	134	41.9
8. 高齢者や障害者が気軽に文化芸術に触れることができ、活発に文化活動に取り組んでいる姿	104	32.5
9. 青少年が多様な文化芸術に触れ、創造性や感性が育まれている姿	119	37.2
10. 芸術家・文化活動者が育ち、国内外で活躍している姿	91	28.4
11. 文化ボランティアなどの文化活動を支える人材が活発に活動している姿	62	19.4
12. その他	11	3.4



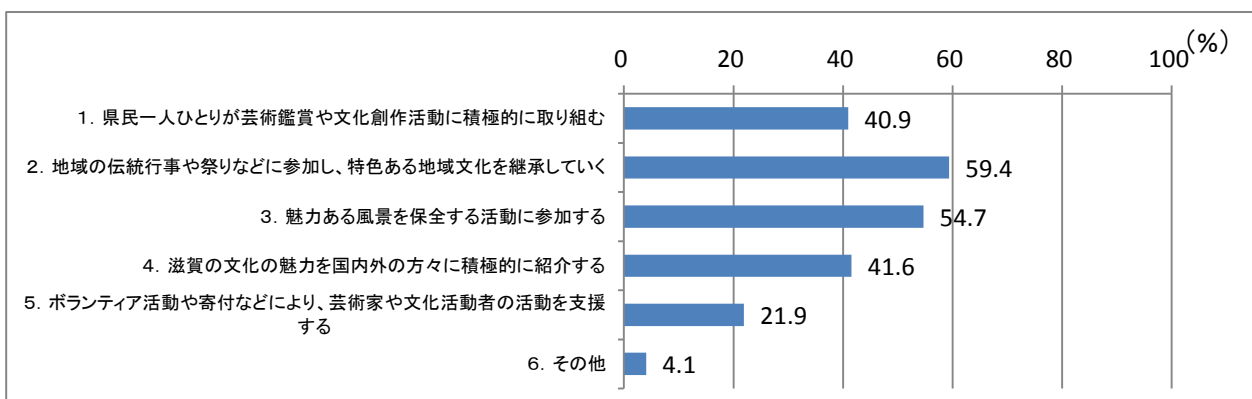
【問14】滋賀の文化振興にあたっては、県、市町、民間団体等がそれぞれ役割分担する中で、県は広域的、専門的な取組に重点を置く必要があると思われます。あなたは、県が今後（5年間程度）、特に担うべき取組とはどのようなものだと思いますか。
（回答チェックはいくつでも n=320）

項目	人数(人)	割合(%)
1. 未来の文化の担い手である、子供・青少年が本物の芸術文化に触れる取組	181	56.6
2. 文化の継承および発展を担う人材(芸術家、伝統芸能伝承者、ボランティア等)の育成に関する取組	160	50.0
3. 市町が行う文化振興施策に対する支援	91	28.4
4. 民間団体、NPO、個人等が行う文化活動を促進する取組	78	24.4
5. 優れた芸術文化や特色ある文化的資産を保全、継承、発展させる取組	145	45.3
6. 観光、産業、福祉、教育等と連携した文化を活かした地域社会づくり	179	55.9
7. その他	14	4.4



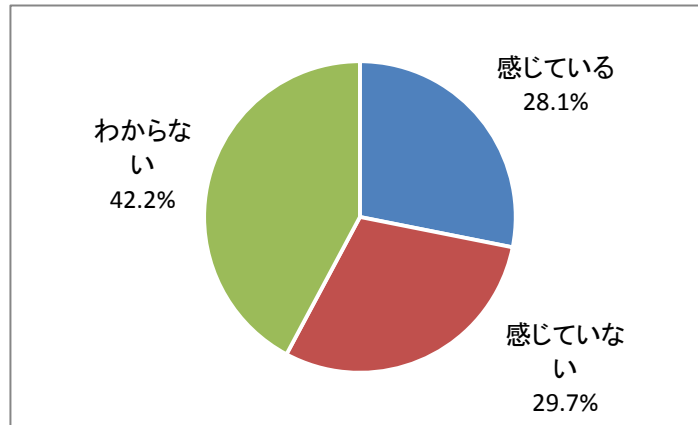
【問15】滋賀の文化力を高め、活力あふれる地域社会を実現するためには、県民の皆さん一人ひとりの主体的な取組が重要です。そのために、県民のみなさんはどのような役割を担うべきだと考えますか。（回答チェックはいくつでも n=320）

項目	人数(人)	割合(%)
1. 県民一人ひとりが芸術鑑賞や文化創作活動に積極的に取り組む	131	40.9
2. 地域の伝統行事や祭りなどに参加し、特色ある地域文化を継承していく	190	59.4
3. 魅力ある風景を保全する活動に参加する	175	54.7
4. 滋賀の文化の魅力を国内外の方々に積極的に紹介する	133	41.6
5. ボランティア活動や寄付などにより、芸術家や文化活動者の活動を支援する	70	21.9
6. その他	13	4.1



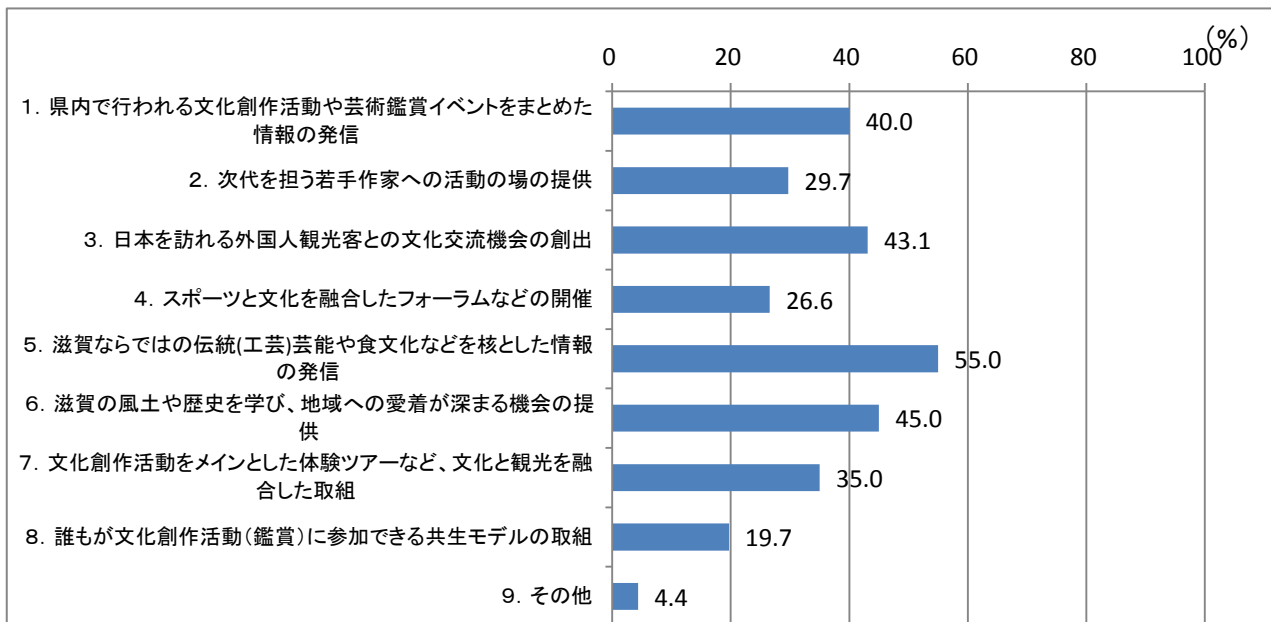
【問16】滋賀県では、子どもが本物の文化に触れる機会の充実を重点施策として取り組んでいます。学校の授業での文化・芸術体験学習、美術館・文化ホール等の文化施設で提供されている子ども向けプログラム、地域での取組などにより、子ども(中学生以下)が文化・芸術を体験する機会が確保されていると感じていますか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
感じている	90	28.1
感じていない	95	29.7
わからない	135	42.2
合計	320	100.0



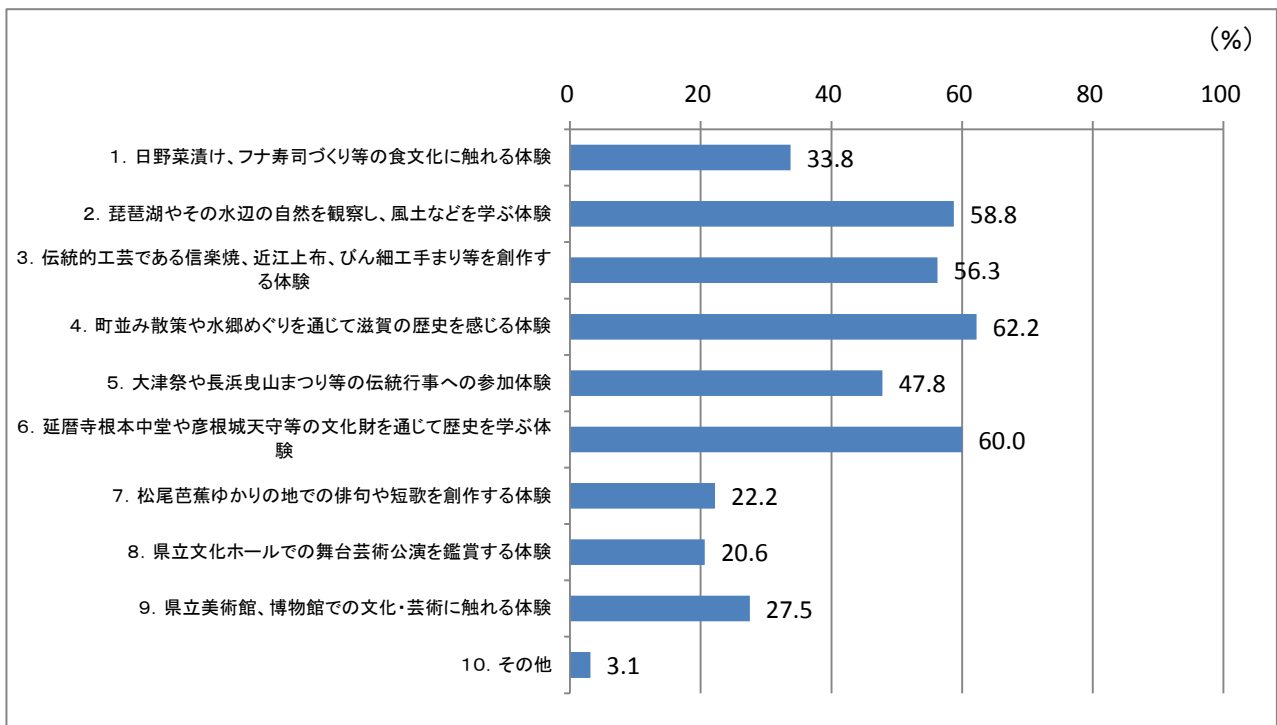
【問17】2020年に東京でオリンピック・パラリンピック競技大会が開催されますが、オリンピックおよびパラリンピックは、スポーツだけでなく文化の祭典でもあります。この機会を通じて県における文化振興の発展をめざす取組として何が重要だと思いますか。(回答チェックはいくつでも n=320)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 県内で行われる文化創作活動や芸術鑑賞イベントをまとめた情報の発信	128	40.0
2. 次代を担う若手作家への活動の場の提供	95	29.7
3. 日本を訪れる外国人観光客との文化交流機会の創出	138	43.1
4. スポーツと文化を融合したフォーラムなどの開催	85	26.6
5. 滋賀ならではの伝統(工芸)芸能や食文化などを核とした情報の発信	176	55.0
6. 滋賀の風土や歴史を学び、地域への愛着が深まる機会の提供	144	45.0
7. 文化創作活動をメインとした体験ツアーなど、文化と観光を融合した取組	112	35.0
8. 誰もが文化創作活動(鑑賞)に参加できる共生モデルの取組	63	19.7
9. その他	14	4.4



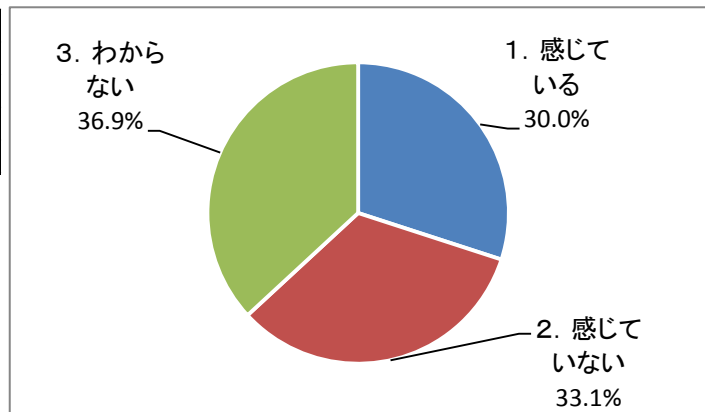
【問18】国内外から訪問された方に滋賀の文化を体験してもらうには、どのようなものが良いと思いますか。
 (回答チェックはいくつでも n=320)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 日野菜漬け、フナ寿司づくり等の食文化に触れる体験	108	33.8
2. 琵琶湖やその水辺の自然を観察し、風土などを学ぶ体験	188	58.8
3. 伝統的工芸である信楽焼、近江上布、びん細工手まり等を創作する体験	180	56.3
4. 町並み散策や水郷めぐりを通じて滋賀の歴史を感じる体験	199	62.2
5. 大津祭や長浜曳山まつり等の伝統行事への参加体験	153	47.8
6. 延暦寺根本中堂や彦根城天守等の文化財を通じて歴史を学ぶ体験	192	60.0
7. 松尾芭蕉ゆかりの地での俳句や短歌を創作する体験	71	22.2
8. 県立文化ホールでの舞台芸術公演を鑑賞する体験	66	20.6
9. 県立美術館、博物館での文化・芸術に触れる体験	88	27.5
10. その他	10	3.1



【問19】あなたは、滋賀県内の文化ホールや美術館等の文化施設で開催される展覧会や公演、イベント等において、優れた芸術(全国・世界レベルの舞台芸術、芸術性の高い展覧会など)に触れることができると感じていますか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 感じている	96	30.0
2. 感じていない	106	33.1
3. わからない	118	36.9
合計	320	100.0



【問20】その他、滋賀県における文化振興施策の推進に向けて、御意見等がありましたらお聞かせください

- ・今回のアンケートが「滋賀文化のススメ」サイトを知るきっかけとなった。文化に特化した県内全域の情報が発信されており、今後利用させていただく。是非、積極的な周知活動をお願いしたい。
- ・社寺に多くの文化財が残されていることはもっとアピールしてもよいと思う。
- ・滋賀は、文化的な活動を得ようと思ったら、身近に講師になれる人がたくさんいらっしゃるの、小さな公民館や学校単位でも技術を習得する事は可能だと思う。小学校では近江だるまの制作をする授業が行われ、伝統技術を学ぶ機会を得た。いわゆるシルバー世代の方や、小さい子供を育てている子育て世代の人たちも気軽に参加ができる割安での学びができれば、文化的な活動はますます広がって行くと思う。
- ・文化とスポーツを、行政上別枠に置くべき。
- ・県立図書館、県立近代美術館、県立琵琶湖博物館など、公共交通機関で行くのに不便です。今後、高齢化や交通機関の間引きなどでますます不便になるのではないかと心配です。既設のものについては、県として公共交通機関の利用について見直していただきたいです。
- ・滋賀県の魅力の情報発信が不足している様に思います。
- ・びわ湖ホールが国内でもかなり設備の整ったホールであるのに、そのことが県内でもあまり知られていないと思うので、知名度をあげられるといいと思いました。
- ・子供には本物の芸術、文化に触れる機会を増やしてほしい。限られた授業時間の中で、中途半端な内容の体験や芸術に触れるのでは感受性の高い子供たちへの刺激がない。憧れを持てる体験や人物に触れる機会を。
- ・琵琶湖、水、環境保全を前面に出した体験型の文化振興。
文化は現代に作った箱ものからではなく、古来からある自然や神社仏閣、食文化、風土文化を丁寧に紹介し体感する仕組みを作ることが大事ではないか。
- ・何をしても駐車場も少ないし、交通の便も悪いので改善してほしいです。
- ・地域のカルチャーセンターで格安に体験出来る施策を考えて欲しい。
- ・県の施設を湖北に。
- ・例えば、首都圏では毎週どこかで、演奏会やライブが行われ、文化的刺激を受ける機会に恵まれている。そうした環境にない滋賀県では、県の地域状況や交通機関、施設の状況などをどのように変えていくか、また、人が家庭や職場、学校等に居ながらにして、文化の創作活動や鑑賞に参画できる状況をどのように作っていくか等々に、叡智を結集していくべし。
- ・びわ湖の魅力はぞんぶんに発信されているように感じます。同じように、滋賀の文化を様々な世代、県内外に広めていってほしい。
- ・「ローマは一日にしてならず」文化形成は長い時間と、たゆまぬ努力が必要です。どうして、鑑賞に堪えるものを作るかは、これからの指導によるものではないでしょうか。
- ・文化振興は重要だとは思いますが。しかし県民全員が取り組む必要はなく、興味を持った方に支援できる体制が必要と感じます。
- ・敷居を低くして、子どもと一緒にしたいです。特に子どもには、色々なものに触れて、五感で感じてほしいので、子ども向けのイベントがあれば嬉しいです。
- ・滋賀県は歴史の宝庫と呼ばれるほど豊富な歴史資産に恵まれています。機会あるごとに歴史や伝統行事などにふれあい、知識と興味を深めていきたいと思えます。
- ・日頃、余裕がないためか、なかなか文化に触れあう機会に恵まれない。県民が、日常の中で、何か気楽に触れあうことができるような施策が望まれる。
- ・湖北と湖南に取組の差があるように感じる。
- ・難しすぎる(かたすぎる)感じで取り組みがよく分からない。

